

### 太平吟

北宋・邵雍 しやうよう

- 1 天下太平日
- 2 人生安樂時
- 3 更逢花爛漫
- 4 爭忍不開眉

争いかでか眉を開かざるに忍しのびん

### 安樂窩前蒲柳吟

北宋・邵雍 しやうよう

- 1 安樂窩前小江曲
- 2 新蒲細柳年年綠
- 3 眼前隨分好光陰
- 4 誰道人生多不足

眼がんぜん前ずいぶんの好よき光陰こういん

誰たれか道いう人生は足たらざること多しと

【語釈】随分：①分相応 ②当然そうである・勿論

### 清夜吟

北宋・邵雍 しやうよう

- 1 月到天心處
- 2 風來水面時
- 3 一般清意味
- 4 料得少人知

一いっばん般せい清意味いみ

料はかり得たり人の知ること少まれなるを

【語釈】清意味：清々しい夜の景色がかもす興趣